



# みんなで食を考えよう

～毎月19日は「食育の日」～

## 6月は「食育月間」です

この機会に改めて食について考えてみませんか？



※「大山町食育推進計画中間評価報告書」及び「食の安心・安全に関する意識調査報告書」は、町ホームページや役場本庁・各支所・各公民館・町立図書館で閲覧できます。

### 「食育月間」はなぜ6月？

食育基本法が成立した月が平成17年6月でした。

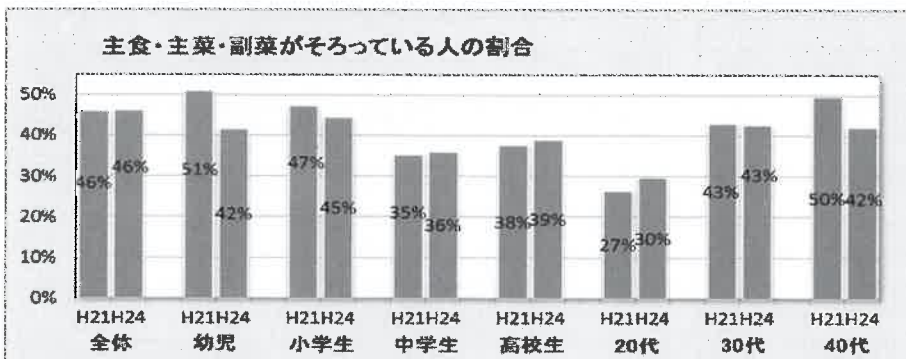
また、多くの皆さんに、年度の前半から、年間を通じて食育への関心を高め、健全な食生活を実践していただくため、進学や就職、転勤などの影響が少ない6月が「食育月間」になりました。

### 「食育の日」はなぜ19日？

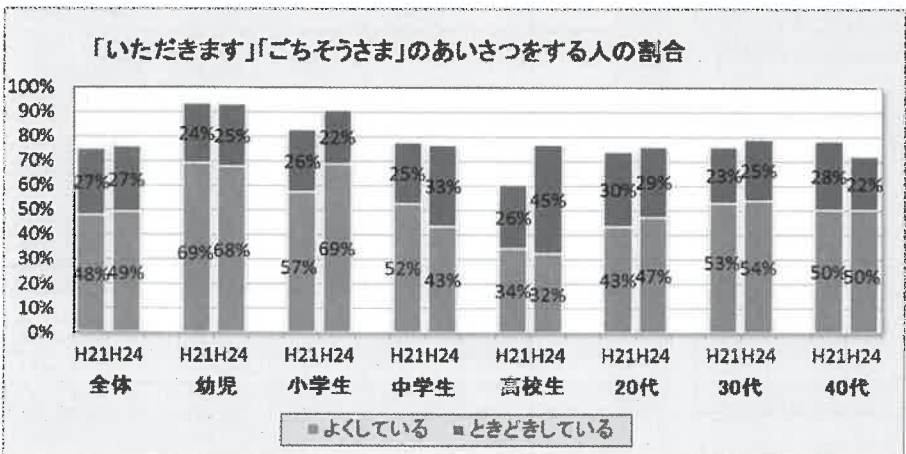
食育の「育(いく)」という言葉が「19(いく)」という数字を連想させること、また「食(しょく)」という言葉も「しょ→初→1、く→9」と読み、「19」を連想させること、そして、国の第1回食育推進会議が平成17年10月19日に開催されたことも踏まえて19日が「食育の日」になりました。

町は、国の食育基本法・食育推進基本計画に基づき、22年3月、「大山町食育推進計画」を策定し、食育を計画的、総合的に推進しています。

昨年9月には、「大山町食育推進計画中間評価」及び「食の安心・安全に関する意識調査」を行いました。その結果は、以下のとおりです。



■朝食をバランスよく食べている(主食・主菜・副菜がそろっている)人の割合は、21年度も24年度も46%で変わりませんでした。21年度と最も差があったのは幼児で、9%減少しました。20代は最も低いですが、21年度と比較すると3%増加しました。



■食前食後のあいさつの習慣がある人の割合は48%から49%とほぼ変わりませんでした。年代別であいさつをよくしている人は小学生で12%増加、中学生は9%減少しました。21年度同様、幼児をピークに高校生まで減少し、20代30代で増加しますがそれ以降は減少傾向にあります。

【平成21年度と平成24年度の食育アンケート結果の比較(一部抜粋)】